

学校施設のバリアフリー化等の推進に関する主な検討事項(案)

1. 背景

近年、約 8 割の公立小中学校に特別支援学級設置され、在籍する児童生徒がこの 10 年間で倍増していることや、災害時には避難所となる学校施設の防災機能を強化する観点等から、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」が改正された。本改正では、公立小中学校へのバリアフリー基準の義務付けが進められるなど、学校施設のバリアフリー化を一層推進することが求められている。

このような状況を踏まえ、既存施設を含めた学校施設におけるバリアフリー化の推進方策等について検討する。

2. 主な検討事項

(1) 学校施設におけるバリアフリー化の推進に向けた緊急提言について

【学校施設におけるバリアフリー化の推進に向けた論点例】

- 学校施設のバリアフリー化の現状と課題について
 - ・どのような実態でどのような課題があるか。
- 学校施設のバリアフリー化の考え方について
 - ・どのような考え方で推進していくか。
 - ・バリアフリー化の優先順位をどう考えるか。
- 学校設置者等の推進方策について
 - ・学校設置者等は、バリアフリー化の計画的整備のため、どのような方策を講じていく必要があるか。(例えば、実態を踏まえた整備計画の策定 など)
- 国の推進方策について
 - ・国はバリアフリー化を推進するため、どのような方策を講じていく必要があるか。(例えば財政支援や技術的支援 など)

(2) 学校施設のバリアフリー化の目標設定について

(3) 学校施設のバリアフリー化推進指針の改訂について

※ (2)・(3)については、第3回会議以降に改めて論点を提示予定